●発行／豊岡市 ●編集／政策調整部秘書広報課
市長室☎0796-23-1111 FAX24-1004 FAX23-1124
〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp
（総合支所）・竹野☎47-1111・日高☎42-1111・城崎☎32-0001・出石☎52-3111・但東☎54-1000

歴史｜探訪 ～文化財を巡る～㉓

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。
《問合せ》文化振興課☎23-1160

「有形民俗文化財」

有形民俗文化財とは、それによって人々の暮らしや文化、生業、信仰などを知ることができる資料のことで、中でも地域的特色や歴史的な移り変わりをよく表しているものを指定しています。これらは全て地域の人々の暮らしと深く関わってきたものです。

農村歌舞伎舞台
（県指定）但東町虫生（むしゅう）

安牟加（あむか）神社境内にある舞台は、残っていた文久２年（1862年）の落書きから、それ以前に築造されたと考えられています。舞台は上面が、手前に向かって緩やかに傾斜する枹転（ばちころ）ばしになっており、役者の足元までよく見えたといいます。同好の村民で結成された地芝居を演じる「虫生座」があったと伝えられています。

柳ごうり生産用具一式および製品
（市指定）神美台・出土文化財管理センター

古くから、杞柳（きりゅう）製品は円山川下流域の荒地に生えるコリヤナギを原材料に生産されてきました。編み目が詰まり、丈夫で水も漏らさない作りができるため、耐久性が求められる文書箱や弁当箱、衣装箱などに加工されてきました。これらを作る生産用具も、江戸時代からほとんど姿を変えていません。

飾千石船（かざりせんごくぶね）
（市指定）竹野町竹野・北前館資料室

江戸時代中期から明治時代にかけて、大阪から瀬戸内海を通り、日本海を経て北海道まで寄港しながら、買った品物を別の港で売ってもうける北前（きたまえ）船（千石船）が行き来していました。この辺りでは、竹野港がその拠点の一つでした。船主は千石船を新造する際、その実物を縮小した飾千石船を船大工から贈られ、毎年正月に船祝いをして航海の安全を願ったといわれています。

大名行列諸道具一式
（市指定）出石町内町・家老屋敷

毎年11月３日に行われる出石お城まつりに披露される大名行列槍（やり）振りは、無形民俗文化財に指定されています。この大名行列に使われていた城主や家老などを乗せる駕籠（かご）、馬の鞍（くら）や鐙（あぶみ）、また槍振りに使われる白熊（はくま）、黒鳥毛（くろとりげ）、小白鳥（こぼくちょう）などの毛槍などが保存され、展示されています。華やかな大名行列を飾るにふさわしい洗練された道具の数々です。

語句の解説

- **地芝居**…各地の民間に伝承され、祭礼などの際に地元の人々によって演じられる芝居。村芝居。
- **コリヤナギ**…ヤナギ科の落葉低木。新枝の皮をはいだものを漂白して杞柳細工の材料とする。
- **船祝い**…正月２日に、飾千石船を川に浮かべ、航海安全と家内安全などを祈る酒宴を行った。

柳ごうり生産用具一式および製品は、現在展示していません。

VEGETABLE OIL INK 「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。